

科目名	初学者ゼミ (Introduction to University Learning)			科目コード	115
開講学科	看護学科・臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1年次前期	関連DP	看①②、臨①②
担当教員	草薙 康城、脇坂 浩之、鳥居 順子、仲渡 江美、金澤 知典、尾上 智子				
授業概要	主体的な学習者 (active learner) として、大学で学ぶための基本的な学習スキル (スタディ・スキル) や学習態度の修得を、具体的な演習 (グループワーク) を通して修得する。したがって、本授業では出席が重視される。後期に開講される「基礎ゼミ」をはじめとした全科目への学習の導入と位置づける。授業は全体で実施する場合と、看護・臨床計100名を3グループに分け、3教室に分かれてそれぞれ2名の教員が担当する場合がある。				
授業目標	大学生として、そして将来社会人として求められる「能動的な情報収集力」や「論理的思考力」、「批判的思考力 (クリティカル・シンキング)」について、演習を通じて体験的にその重要性や必要性について気づくことを目的とする。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	大学で「学ぶ」こと この授業の目標とタスク	①担当教員の紹介 ②この授業の学習目標を伝える体験ワーク (PW)	担当者全員
2	大学を知ろう (1) 高校との違いを探そう	①大学生活を思い浮かべてみて違いを探そう (GW) ②大学で「学ぶ」ためのルールを知ろう！	
3	大学を知ろう (2) 教員とのつき合い方	①教員とのつきあい方 「メールの出し方」、「オフィスアワーの使い方」(PW)、②キャンパス・ハラスマント、③タイム・マネジメントをしてみよう (HW)	鳥居順子
4	ノートの取り方 (1)	①授業スタイルに合わせたノート・ティキング：3つのタイプ (板書中心、ハンドアウト中心、テキスト中心) の授業体験ワーク ②社会人・医療職者として求められる力とは？	脇坂浩之
5	ノートの取り方 (2)	①役に立つノートとは？ 役に立つノートの作り方 ②授業スタイルに合わせたノート・ティキング：パワーポイント中心と講演形式の授業体験ワーク	草薙康城
6	テキストの読み方 (1)	①大学で求められる「読み」のレベルとは？ ②論理展開のパターン・練習ワーク (PW) ③要約課題 (HW) テキスト第2章の発表とワーク	脇坂浩之
7	テキストの読み方 (2)	①読むべきテキストの探し方 (図書館の利用の仕方)、②要約のしかた (PW→AS)、③要約課題 (HW)	金澤知典
8	協同学習という学びの方法	①協同学習の理論と技法 (PW・GW) ②協同学習を有効に行うために：アサーション (PW)	尾上智子
9	きちんと考える方法 (1)	①事実と意見を区別する (PW) ②クリティカル・シンキングを体験しよう (PW)	草薙康城
10	きちんと考える方法 (2)	筋道立てて考える (3教室に分かれてのGW) ①ブレーンストーミング、②「なぜ」の連鎖	
11	きちんと考える方法 (3)	根拠立てて考える (3教室に分かれてのGW) ①クロス・ロード「食の安全」編	担当者全員 (3教室に分かれて実施)
12	きちんと考える方法 (4)	視点を変えて考える (3教室に分かれてのGW) ①ディスカッションを通じて、疑問点を抽出し、理解を深める	
13	レポート・論文の書き方 (1)	《基本編》①小論文とレポートの違い (PW)、②引用の仕方、事実と意見の書き分け、③いろいろなレポートのタイプ	
14	レポート・論文の書き方 (2)	《内容編》①課題の要求する内容を理解する、根拠に基づき論を展開する。②医療・福祉・教育に関するレポート (HW)	仲渡江美
15	レポート・論文の書き方 (3) まとめ	①よいレポートとは？ (PW→AS) ②全体のふり返り	担当者全員
成績評価方法		授業時間内課題 (演習ペーパーおよびミニッツ・ペーパーの提出による) 70% HW・自らの学びのふり返りレポート 30%	
教科書		藤田哲也「大学基礎講座 —充実した大学生活をおくるために—」(北大路書房)	
参考図書等		井下千以子「思考を鍛えるレポート・論文作成法」(第2版) (慶應義塾大学出版会)	
授業時間外の学習について		必要に応じて指示する。	
関連科目		116 基礎ゼミ	
備考		内容は、演習の進行状況により変更されることがある。 授業の詳細は第1回のオリエンテーションで詳しく説明する。 PW:ペア・ワーク、GW:グループ・ワーク、HW:ホーム・ワーク、AS:アドバイス・シートの活用を示す。 出席していない回のHWやふり返りレポートの提出は認めない。	